

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		動物園
	03	03	01	04	01	

政策
動物園再生

政策の内容

動物福祉に配慮した獣舎の改修や再整備を進めるとともに、休憩所等の便益施設の充実やいのちの大切さを伝え環境問題等の理解を深める教育の拡充等に取り組みます。
市民や市内の事業者と協働して、動物園の再生を目指した取組を進めます。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
生活サービス施設の充実	あなたの暮らしている地域の生活サービス施設(医療・福祉、買物、文化、公共交通、公園など)は充実していると感じますか。	3.07	3.04				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

平成28年に策定した「浜松市動物園再生基本計画」に基づき、令和3年3月のいのちのふれあいゾーンの開設(現:動物ふれあいエリア)やトイレ新設など便益施設や獣舎の整備を進めてきたが、以下の課題への対応が必要な状況である。

- ・動物福祉向上の考え方に基づく獣舎への対応が不十分である。
- ・来園者に不評な、園路の高低差(坂道)と、休憩場所不足の解消が急務である。
- ・ゾウ舎等の複数の獣舎が空いたままとなっており、園全体の魅力低下に波及している。
- ・市内の幼稚園等の遠足や校外学習の多くが、近隣の動物園へ流出している。
- ・「環境教育」や「いのちの教育」の充実が必要である。

令和6年度に策定した「浜松市動物園再生基本計画改定版」に基づき、動物園再生を推進する。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	848,697				
決算	813,312				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	28.8				
会計年度任用職員	5.6				
暫定再任用職員(31時間勤務)	0.0				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
動物園施設維持 管理事業	市民の憩いの場として、来園者が安全、安心、快適に利用できるように園内施設の維持管理を行う。 動物が健康に過ごせるよう動物福祉に配慮した飼育を行っていくとともに、動物園の役割である展示や解説、繁殖や種の保存についても積極的に進める。 ・園内施設・設備等の維持管理及び業務委託 ・動物の飼育・展示 ・絶滅危惧種、希少動物の飼育、繁殖及び調査研究 ・種別繁殖計画への参加 ・消耗品、備品等の購入	194,058
		189,263
いのちの教育事 業	動物園で飼育する動物を通して、いのちの大切を伝える教育を推進するとともに、地球温暖化等により動物たちの生息環境が脅かされている現状などを伝えることで環境保全の必要性を伝える環境教育についても実施していく。	856
		792
各種イベント開催 事業	来園者が楽しんで参加できる動物に関連したイベントの実施により、展示動物に関する知識を深めるとともに、動物愛護、自然保護に対する意識を高めてもらうことを目的とする。 イベント等内容 ・特別企画イベント ・担当飼育員による動物ガイド ・障がい者とその家族を対象としたドリームイブニング ・各動物の記念イベント ・季節の行事に関連したイベント ・写生大会(春・秋)、園内で撮影した写真コンクール ・夜間開園時間の延長によるナイトZOO ・動物園ボランティア育成 等	8,155
		7,989
傷病野生鳥獣保 護事業	静岡県からの委託を受けて、怪我をしたり、病気であったりする野生鳥獣を保護治療し、自然へ復帰させることにより自然環境や生態系の保全に寄与する。	959
		959
動物購入事業	種の保存や動物福祉の向上を進めていくため飼育動物コレクションプランを基本に、新しく導入をしていく動物や、死亡してしまった動物に代わる動物、繁殖を進めるための動物等を導入する。 また、各地の動物園と協働して、ブリーディングローンを推進していくため、動物の移動を実施する。	6,000
		5,585
施設整備事業	動物福祉に十分配慮しきれていない獣舎や老朽化が進む園内施設を計画的に修繕し、動物園の魅力向上を図る。 主な事業 ・給排水設備等改修工事 ・ミニサファリ改修工事 ・汚水処理施設改修工事实施設計業務 ・受変電設備改修工事实施設計業務	638,669
		608,724

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
動物福祉に則した獣舎改修整備率(%)	動物福祉の向上のため施設整備を実施する。	動物福祉向上のための施設増加を測る指標であり、実績値の達成により動物の福祉が保たれた獣舎数向上に寄与するものと見込んでいる。	目標値	-	23	27	31	35	39
			実績値	19	21				
			達成率	-	91%				
来園者にやさしい便益施設整備率(%)	来園者が過ごし易い施設とするための施設整備を実施する。	来園者のサービス向上に寄与した施設を測る指標であり、実績値の達成によりリピーター増加に寄与するものと見込んでいる。	目標値	-	10	15	20	25	30
			実績値	5	11				
			達成率	-	110%				
教育活動実施回数(回)	出前講座、教育プログラム、ふれあい体験、職場体験、飼育実習等の教育活動の実施回数 実績値は年度末～翌年度初旬に確定する。	教育施設として貢献度を測る指標であり、実績値の増加によりいのちの教育や環境保全等の普及啓発に寄与していると見込んでいる。	目標値	-	130	135	140	145	150
			実績値	128	161				
			達成率	-	124%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
動物園の入園者数(人)	動物園の総入園者数 実績値は年度末～翌年度初旬に確定する。	動物園再生基本計画に基づき、種の保存、動物福祉の向上、環境教育の推進を図るとともに、リピーターを増やす等、入園者数の増加を目指す。この指標の向上により来園者の満足度向上につながっていることを想定している。	目標値	-	350,000	365,000	380,000	395,000	410,000
			実績値	312,715	309,487				
			達成率	-	88%				
教育活動参加人数(人)	出前講座、教育プログラム、ふれあい体験、職場体験、飼育実習等の教育活動の参加人数 実績値は年度末～翌年度初旬に確定する。	教育施設として市民が学び体験した人数の実績値の増加によりいのちの教育や環境保全等の教育に貢献していることを想定している。	目標値	-	6,700	6,800	6,900	7,000	7,100
			実績値	6,643	6,265				
			達成率	-	94%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
公園を月1回以上利用する 人の割合(%)	○	緑の基本計画におけるアン ケート実施による市民意識 調査。	実績値	31.6	25.9					50.0 (2030 年度)
			達成率	63.2%	51.8%					
			実績値							
			達成率							
			実績値							
			達成率							

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

まち全体にみどりがあふれ、公園や緑地がこどもの遊び、育ちの場や市民の生きがい創出の場となっている。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
動物園施設維持管理事業	面積14.6ha、動物展示数85種322点(哺乳類52種209点、鳥類33種113点)の規模を有する動物園。動物や来園者等が安全、安心、快適に利用できるように園内施設の維持管理を行った。 ・園内施設・設備等の維持管理及び業務委託 ・動物の飼育・展示 ・消耗品、備品等の購入	引き続き、入園者が安全・安心・快適に利用できるよう施設の維持管理、展示動物たちの飼養管理等を行う。
いのちの教育事業	・動物園に来園した幼稚園、保育園及び小学校等の団体に対し、教育プログラムを実施した。(106回) ・主に市内小学校で出前講座を行った。(32回)	生物多様性、環境保全等を題材にした環境教育プログラムを整備し、事業拡充を図る。
各種イベント開催事業	入園者が各種イベントに楽しみながら参加することにより、動物に関する知識を深め、動物愛護の精神や自然保護に対する意識を高めてもらうとともに、入園者増加対策の一環として、各種イベントを開催した。 イベント等内容 ・特別企画イベント「動物と自然とわたしたち展」 ・担当飼育員による動物ガイド ・障がい者とその家族を対象としたドリームイブニング ・各動物の記念イベント ・季節の行事に関連したイベント ・写生大会(春・秋)、園内で撮影した写真コンクール ・夜間開園時間の延長によるナイトZOO 等	引き続き、動物園特別企画等を開催していく。毎年テーマを変えることにより、来園者に興味を抱いてもらい知識向上に繋げる。 その他動物園独自のイベントや隣接するフラワーパークとの館山寺総合公園としてのイベントを拡充させるなど、来園者ニーズに対応する形で集客力を高める。
傷病野生鳥獣保護事業	2025年度傷病野生鳥獣保護状況 保護頭、羽数()内は自然復帰頭・羽数 ・鳥類 14(8) ・哺乳類 0 ……計14(8) 57%	今後も市民などからの通報に適切に対応できるよう、県と連携し、情報の共有化と業務の適正化を図るとともに、市民への鳥獣保護思想の普及・啓発に努める。
動物購入事業	2025年度実績 ・借受:オオワシ♂1♀1、レッサーパンダ♀1、フンボルトペンギン♂1♀1、アンデスコンドル♂1♀1 ・譲受:フンボルトペンギン♂1♀1、ブラウンケナガクモザル♂2♀1、ホンシュウジカ♂1♀2、ダチョウ♀1 ・購入:ベニイロフラミンゴ♂1・♀1、ミーアキャット♂1・♀1、ヤギ♀2 ・交換:モルモット ・預託:アンデスコンドル♀1、オジロワシ♂1、ハクトウワシ♂1	飼育動物コレクションプランの見直しとともに見直した内容に沿って、飼育体制を整え、動物の導入を図る。
施設整備事業	動物福祉、来園者サービスの向上及び動物や来園者等の安心・安全のための改修を行った。 主な事業 ・給排水設備等改修工事 ・ミニサファリ改修工事 ・動物用パーゴラ設置工事 ・污水处理施設改修工事实施設計業務 ・受変電設備改修工事实施設計業務 等	引き続き、来園者や職員、動物の安心・安全のため老朽化による施設・設備の修繕を行うとともに、動物福祉に配慮した獣舎整備の実施を検討する。 2016年9月に策定した動物園再生基本計画に基づき、污水处理施設等、基盤施設の抜本的な整備を行う。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否	

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否	

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

2025年6月30日付けの4者(浜松市・浜松いわた信用金庫・浜松市花みどり振興財団、浜松市動物園協会)による公民連携協定により組織した「浜松市動物園魅力向上推進協議会」を中心に、地域企業等の協力を含めた応援プロジェクト等、魅力向上に資する取組を進めた。 指標にかかる獣舎改修整備および便益施設整備については計画に沿った整備を進め、概ね目標を達成した。 動物園の入園者数についてはやや達成率が低かったため、今後は施設整備に加え魅力向上につながるソフト面での整備等を進め、入園者数の増加を図る。 引き続き、浜松市動物園の魅力向上推進に向けた公民連携の取り組みと、動物福祉への対応や魅力向上に関する整備(中期的な再整備計画)を、「魅力向上ビジョン」に併せ検討する。